



豊田市自然観察の森
Toyota City Nature Sanctuary

雑木林

ぞうきばやし

2021
5
vol.362

WE
LOVE
とよた



美声を愛でる

自然観察の森に渡来する夏鳥のなかでも
ひとときわ色鮮やかなキビタキ。
姿だけでなく、明るく透んだその声の美しさも格別です。
キビタキは近年生息域を拡げ、
かつては深山でしか聞くことができなかった美声を
この森でも堪能することができます。



ホームページはこちら

イベント情報更新中!

<http://toyota-shizen.org/>



こんなことしました

開催されたイベントの様子をご紹介します！



3月開催

「ムササビなどの野生哺乳類の観察の仕方」



愛知教育大学の子安和弘氏・曾根啓子氏を講師にお招きしました。哺乳類の観察方法やこの森に生息する種の説明を受けたあと、外に出てムササビが入っていると思われる巣箱の下で静かに待ちました。日没直前、ムササビが巣穴から顔を出し、約30分後に巣箱から出て木を駆け上がり、森の中へ滑空しました。講師の先生も驚いたことに同じ巣箱からもう1頭が現れ、同じように滑空していきました。参加者からは「ムササビをゆっくり見られた。2ひきも見られた。とぶところをよく見られてとてもうれしかったです」など多くの満足の感想をいただきました。



3月開催

「森あそび～親子でシイタケ菌打ち～」

今回で最後になる森あそび「親子でシイタケ菌打ち」をとよた自然わくわくクラブ主催で実施しました。あらかじめ用意しておいたホダ木におよそ20カ所の穴を開け、その穴に菌を打ち込みました。ホダ木に印をつけ電動ドリルで穴を開ける作業はなかなか大変そうでしたが、開けた穴に木づちで菌を打ちこむ子どもたちはとても楽しそうでした。2年後にたくさんのシイタケが出てくることを願いつつ菌打ちをしたホダ木を嬉しそうに持ち帰る参加者の姿が印象的でした。(※ホダ木：キノコを栽培するために使う天然の木)

レンジャーこそこそ話

レンジャーが日々の活動の中で思ったこと感じたことを気軽に掲載するコーナー



5月になり、様々な種類のトンボがヤゴと呼ばれる幼虫から成虫への羽化を始めます。羽化したばかりのトンボの羽は、まだ弱々しい

ものの、太陽の光を浴び、キラキラと光っています。「俺もがんばるけど、お前もがんばれよ」とエールを送る毎日です。

文 猪俣 寛

自然クイズコーナー??

Q キビタキやオオルリなどのヒタキ類を英語ではフライキャッチャー (Flycatcher) と言います。エサをとる様子からこのように呼ばれますが、そのエサとは?

- A 空中を飛んでいる虫
- B 地面にかくれている虫



キビタキ



オオルリ

答えはこのページの1番下に書いてあるよ!

豊田市自然観察の森 Toyota City Nature Sanctuary

〒471-0014 愛知県豊田市東山町4-1206-1
Tel: 0565-88-1310 FAX: 0565-88-1311

【定休日】毎週月曜日(祝日の場合は開館) 年末年始(12/28~1/4)
【開館時間】(4月~9月)9:00~17:30 (10月~3月)9:00~16:30



豊田市自然観察の森
Facebook



東海丘陵湧水湿地群
Facebook



豊田市自然観察の森
Instagram



http://toyota-shizen.org/



クイズの答えは「A」フライ (Fly) はエサを捕まえること